

○ノ地へ毎途セラルル貨物、貨物
證明書提出シテ規定ナシト
爲リて輸出スルモノハ其船
主證明書提出ラ要求ス

○輸入貨物ニ對シテ其大
小拘ハラズ凡テ證明書
ナルヘシ其期日ハ不
同ト小包郵便ニ依ルモノ亦

輸入貨物ニ對シテ其大
小拘ハラズ凡テ證明書
ナルヘシ其期日ハ不
同ト小包郵便ニ依ルモノ亦

英國總領事部ニ就キ請
求ス

く而して其の南下は滿洲の宗社黨
勾結せる結果ならんと稱せられ東
北せる金州大嶺家屯旁

移置せらるゝといふことより、**釜****庫****内**にテ、**山縣政務總監以下各部長官**は、**京市にて十五日夜に砲撃**されし時、**浦賀兵工廠が平壤附近に設**

檢事に榮格に付き鎮南浦官民有志は
 送別會を廢し記念品を贈呈すること
 昨四年同月に此自米八百二十
 石玄米二千七百四十六石大豆千八
 百一萬二千四百四十四石小豆

金泉
 大國 著手せしも 天候不
 麥刈に著手せしも 天候不
 冷やに密にぶき足鞋 軋み曲な
 金剛出立堂
 鎗と剣と宵葉と束ね 衡立てし

中村耳鼻咽喉科醫院

第一百回

浪桃川如燕口濱
上義三郎速記

A black and white illustration of a woman in a kimono standing on a beach, looking out at a boat in the distance. The woman is in the foreground, wearing a dark kimono with a circular emblem on the sleeve and a light-colored skirt with a floral pattern. She is looking towards the left, where a boat is visible on the water in the background. The scene is set on a sandy beach with some rocks or debris in the middle ground.

いて控へて居る。忠「伊織、武藏を見
たか。伊「ハツ。忠「久しく見ぬ中に年
も老け、色も黒くなつて大分瘦せた
やうに思ふ、苦勞したのぢやな。伊
へ、ニツ。忠「公然の仇討にはあら
ざいへども、武藏に取つては晴れの馬
附ぢや、永々の道中衣服も汚れ袴な
ども苦勞しからん、コレ勸解由其方
彼所へ參つて武藏に會ひ、用意い
した衣服大小を彼れに取らせい。伊
ハツ「畏まりました。とニツ「木暮解由
豫て毆きの仰せに依つて取遣へました
衣服袴及び大小刀、宮本に持たせ
自身船に乗つて灘島へ上り、宮本を
呼んで。勸「君公よ斯々の仰せ、有
難く拜領なされ。華々しく仇討をい
たされて宜しかう。宮本思はず涙
を流し。武「例日に初めぬ臆の御恩、
いたりとこも助大刀は固より亦敵な
方共一命を及の下に失ふとも、
怨みとす所なし、兩人の一族
を以つて上陸いたし、之れは別
度を改めたるも何もない昨日の
の姿で四尺餘の大刀を手挟み其
進む。數萬の見物海陸に充滿し
負如何にと固唾を呑んで見て居
す、ニツ「木暮解由其所へ進んで
武藏「岸柳の兩人武道の意氣地
くして真顔勝負を行ふ、然るト

用
通
編

得てこは何事、岸御下ツカと大地に
生して、一一待ち下さいと申上げた
に餘の儀でもござらん、拙者昨晚
中に於て御考へましたる所、一日
武進の意氣地に依つて石川軍刀番先
生と名聞を爭はひ、門人澤田奎左衛
門と名聞を爭はひ、二江戸参へ

門を一つ、御袴中を幸ひて石川
出陣。先生を意に配りし、遂に軍刀發は
果敢なき御最期、貴殿神帥の仇とし
て吾川を討たれしは理の當然、敵へ
て恨む所もこれなく、然るに拙者
猶病公を取りつゝ仇敵として付戰ら
ひしは悉皆狂氣亂心の致方、今更何
言次第もござらん、拙者は今年七月
一、除命程程もなき身にして猶病
公へ及向け、罪業の上に罪業を重ね
され、奈落の底の苦しみを加へて何
かせんか。潮よく算公の足を受け、
岸脚が改悔の血を以て洗ひぬめし
白髪首を擡げて、石川軍刀發先生在

◎舊古今集◎ ◎新古今集◎ ◎新古今集◎ ◎新古今集◎
◎唯読會◎ ◎松榮堂本町一◎
◎高價讀賣受會◎ ◎電話路一三七八◎

天の靈に附し奉つらん、之れこそ思
卿が先非後悔の印し、謹んで宮本氏
の足を受けんと決心いたしましたしてご
ざる、サア斯申す上からはお手前をも
もいたしません、大小は慈の通り神帥
に差附きます、どうか此白髪首をも
刎ね下さるやうに、この大の刀を以
て鮎に投出し、兩手を突いて頭を
下げた、打つて錘つた岸脚の膝す
不思議に心得まして宮本武藏暫時

つて見て居りましたが、武蔵野
申した言葉は眞實が岸一決して偽りな
申しませんイザ有分に」と岸柳は種
悟の盟

七月十八日九星
舊六月十九日丙辰
本命二箇坤助赤口

●二黒 得心せざる事有る日職事見合中地方は
明徳地 ●三青 不遇の日女に就く事多し
有る日人事平定無事日天休論印等致す
取拒の事有る日人事平定無事日天休論印等致す
か防がるし ●六白 測たき日職居居入學
七青 縁組の日職居居入學速進有女子の思
わぬ戀情大いなる也 ●八入 切切々々
九紫 大忙の日職居居入學速進有女子の思
結縁結縁 ●十有 結縁結縁 ●十一有 結縁結縁
此の手書解いて一年と支拂を要す

●家庭常備藥壹組の内容

醫學博士 外科	醫學博士 內科	醫學博士 小兒科	醫學博士 精神科	醫學博士 皮膚科	醫學博士 齒科
藤田茂木藏之助氏	吉川重吉氏	三輪信太郎氏	石川貞氏	山本謙三氏	石川謙三氏
各專科	修	(卷)	英	編	修

醫學博士	田中	友治氏	著	晩近に於ける花柳病診斷及療法	須子太一氏編	三國科大學各縣醫院院長及製劑類集				
醫學博士	山田	弘倫氏	共著	花柳病診斷及治療法	醫學博士	宮井	醫學博士	對照臨牀新藥集		
醫學博士	高井	八井珠氏	著	泌尿生殖器病學	醫學士	久田	新一氏	編纂	最新補注醫學讀誦類聚	
醫學博士	佐藤	三氏	著	日本外科全書	醫學士	福島	齊久郎氏	著	家庭醫學	
醫學博士	佐藤	三氏	著	日本外科全書	醫學士	河合	三郎氏	著	家庭衛生	
醫學博士	緒方	右衛門氏	著	婦人科診斷及治療學	醫學士	千原	達次郎氏	著	衛生	
醫學博士	緒方	右衛門氏	著	婦人科診斷及治療學	醫學士	日本藥學協會	編輯	家庭醫學	衛生	
醫學博士	緒方	右衛門氏	著	婦人科診斷及治療學	醫學士	陸軍第一軍醫	官	博士	編	家庭醫學
醫學博士	緒方	右衛門氏	著	婦人科診斷及治療學	醫學士	新瀨	貞吉氏	著	家庭醫學	衛生

消毒殺菌 撒 礪 酸

腸膨(ヘントリクリーミン) 急性慢性腎臓全兒(食滯、盈飲、痰飲、消化不良、時嘔吐、腹瀉、腹痛(胃膨脹)、胃満、胃膨脹、腸膨、腸急、腸痛、痙攣等)時に食ひ過ぎた時、飲み過ぎた時、食ふ下り、腹の膨れ、何となく胸急く口中生水の泌り吐き下しの時など胃腸に障害の起つた場合は直ちに服するのです。最も迅速に卓効を顯はれます。

止瀉 タンナルビス

本剤は急性性腸加害兒(霍亂、泄瀉、下痢性慢性腸加害兒)の下痢を止むるに効力がある。腸膨後(嘔吐、下痢)を正するに、第一として下制止して之以後は他にないと言つても可い程で如何なる家庭にも備へ置かざるべからざる良薬であります。

本劑は、創傷、擦過傷、表皮鈍挫、皮膚潰瘍、火傷、出血、瘡癤、膿瘍、跌打、漆毒、うししかぶれ、小痘、濕疹などに應用の頗る廣き外用薬、如何なる家庭にも常に備へ置くべき良薬であります。

本劑は、無害薬力なる殺菌、防腐、消毒劑でありますから、口内病の含嗽用、膣及子宮の洗滌用、創傷、腫瘍、皮膚病の洗滌用、下疳、淋病潰瘍、包皮炎等あらゆる消毒防腐の洗滌用に用ひて最も確實なる効力があります。嘔吐や唾涎などに本劑を用よる時は、恐るべき傳染病菌の感染を豫防する事が出来します。

一、ハーン及ホトフニルト氏著 専門及秘薬(？) 醫藥專門
二、カバクシ、カルロア氏 藥學實習會考査會
三、ヘルマン、ハーゲル氏
四、藥學新報
五、藥學評論
六、藥學年報
七、ゲーアレンツ氏
八、ザートリツヒ氏 新藥及其特質
九、素道王國藥博物學會彙 新藥學月報
十、獨乙藥劑師會藥博物學會彙 藥劑自家調製規則
十一、ドクトル、クラツチニユル氏秘藥及特質
十二、合衆國藥方書
十三、メルク會社索引

[illegible]

本館は、加害者性粒膜炎、結膜赤癢、加害兒（發疹性結膜炎、結膜炎、血眼炎）、流行性眼炎、はやり目、つかみ目、やま目、赤目、に目、火眼、風火眼、涙火眼、時疫性眼炎、天行赤眼、顆粒性結膜炎（トドロホ、眼科病）眼蓋生砂粒、瞼生風粟、眼胞性米粒瘻など除る眼疾諸症に卓著なる効力があります。

右外用參雜、内用五複合計八種類は如何なる家庭にも常備藥として缺くべからざるもののみであります。此八方藥を登録して發行します。

正價一組金壹圓七拾錢

吳興堂呼吸器科、婦人病科等數十種あるもの薬、廠でありませぬ。此外、齒科藥、養毛藥、あせもの薬、腋先づ今回は右常備藥を組として發行し送費は充分容器的の瓶等は全省きと販賣價格は極度まで低下して買主ごさせり。

十四、ブツハイステル氏 藥商規程書

右の外製藥書讀及び調劑學を始め醫藥專門雜誌等も多く蒐集し、之が學說を根據として研究を進め、代實験のミシラ家庭藥等の處方をも参考とし、現理に當つた效驗に就し、法則に照し、民間治療藥として最安全効力の一定不變なるものに其作用の確實顯著なる、其効に製出せるものにて其作用の最良の理想續にて、現今以上超越する家庭治療藥は他に絶對に無しと言ふも、強ち過言なるべし、吾が家庭藥は徹頭徹尾効力本位なれば、製劑原料の如き効力だにあらば如何なる高價をも厭はず採用し、貯藏に堪へ効力を不損ならむる爲め、包装には嚴重なる用意を施しあるも客器の造具等は全省きと販賣價格は極度まで低下して買主ごさせり。

[illegible]

問答方で負擔し、但し香煙以内の御注文は藥價の外に送費拾銭を加へて御送金下さなければ、遺憾ながら御歸り申上げます。

醫學博士	佐藤 勉也氏	著	實用婦人科學
醫學博士	三輪信太郎氏	著	小兒科學
醫學博士	長尾 美知氏	著	近世兒科學
醫學博士	河本重次郎氏	著	近世兒科學
醫學博士	小川劍三郎氏	著	近世兒科學
醫學博士	吉田三郎氏	共著	近世耳鼻喉
醫學博士	吉田三郎氏	編纂	常用科學叢書
東京齒科醫專門學校	額田 豊氏	著	常用臨床處方集
醫學博士	簡井八百珠氏	著	臨床藥典
陸軍二等軍醫	渡邊 逞行氏	著	處方全書
醫學博士	入澤 達吉氏	譯	ベール市廳 撰定處方

吾が家庭藥は三十有餘種ありて、醫術を求むる能はざる處の地に住する人、若くは、醫療を受ける能はざる事ある人等の爲に、平常最も取り易い疾病に對して、應じ得る様個人にも解し易き効能書を添附して發行せり。

三十有餘種ある家庭藥中、如何なる家庭にも置くべきものならざる、常備藥入種類を取揃へて一組とし價を以て諸君の要請に應じ、遠方の注文に對しては當分の郵費小包送金は當方に於て負擔す、されば藥價のみを中へ、若くは振當にて御送金あれ、着金直に急ぎ郵金、代金引換小包の注文に限り、引換小包料の一部を減す、十七種を郵便印手にて必ず前納せらるべし、藥價詳細は別項を御熟讀あれ。

京城南大門外停車場通

ドラッグ商會家庭薬部

長電
電
電
二
五
六
七
番

京城日報

刊朝日七十
(頁八てせと刊タ)

日露協約の眞意義

徳富猪一郎氏談

成るの日に成に非ず
日露協約は、露西亞より見ては日露戦争の終結を意味する。然るに日本より見ては、露西亞の勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。此の協約は、露西亞の勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。此の協約は、露西亞の勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。

城壁文學

小田省吾

（第六） 京城都城の諸門
甲 都門總説
乙 都門の位置
丙 都門の構造
丁 都門の歴史
戊 都門の文化

近東論と極東論

徳富猪一郎氏談

御承知の通り、露西亞は二つの大勢力を有する。一つは近東、一つは極東。近東は露西亞の勢力を抑制し、極東は露西亞の勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。

論理的及び感情的必然

徳富猪一郎氏談

それは日本が露西亞の大勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。此の協約は、露西亞の勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。

物産購買公告

此公告は、露西亞の物産を購買するものに関する。露西亞の物産は、露西亞の勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。

御土産物

露西亞の土産物を御覧ください。露西亞の土産物は、露西亞の勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。

代理店變更廣告

露西亞の代理店を變更するものに関する。露西亞の代理店は、露西亞の勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。

京城詩壇

露西亞の詩壇に関する。露西亞の詩壇は、露西亞の勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。

スサノポロビール

大日本麥酒株式會社 京城出張所

スサノポロビールは、露西亞の勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。

京日案内

露西亞の案内に関する。露西亞の案内は、露西亞の勢力を抑制し、日本に有利な結果をもたらす。

浦金融概況 過般來緩

朝廷の爲に三月以來、
朝鮮人四十八萬二千三百五十七員、兵士の八十三員、大工の八十

見し結果期米は潮次相相低落的の傾向野監査官を班長とし検査計及び監査とは某氏の職で聞くものもオヤ／＼

牛
電訪二〇三番

三 世

は立上り雨一箇に押さへんとするを西にハタかれて残り左塞しとなつて吊見されど吊れたる西門の外掛に来るナを西の打つたる小手投げ見事に優つて勝之にて打出し五時二十分

御西山の幕部陸軍が傾りに臨いたが結局今は宇部宮が五人を薙ぎ倒した。昨日甚しい風聞録の俵羽山の事では俺れの事をあんなに書いたがもがふよ

御山光第五大組の旗頭
〇待乳山の院取清は九厘
〇河内と言つても三日日は一行が朝飯
来て以来始めての大入なで踏進
凡は眼を細くして必死である、堀内
は人ぞ埋まつて身動きもならぬばかりにして置く

大錦の描いた鍾馗
支度部屋にて番を待つ間のすざび

同じ家に世話になつてゐて出来るもんかね、あんな記事は取
計と呉れんこ困るよといふ九州
由にあの女とは東京で知つてるこ
い丈で怪しい仲ぢやないんだ、俺
にはもつと外にあるさ、あれも取清
して置いて呉れ」といふから大井か

●**爆發して即死**
 警防火藥局の爆事
 十四日午前十時、警防火藥局實驗室にて、
 於て爆發起り、廻轉式風路が炸外四名
 は輕傷となり、即死した建物は、
 原内には、
 其の被害を依頼したるより同局にて

度も之れた俺は朝鮮は鬼門な一
言づつてゐる所へ紫雲龍が「早く到頭銀
本(本神懸意)のものを持に販たな」
と言ひながら歸つた。足鑑はこ
ろ／＼も何とも言はずに歸り度
をする。西の海と共に引上つて來た
綾川は何時もの豪勢を見せながら
「なんだか新弟子になつて角力を取
る位な氣がした」と言ひ


◇洗ひ場に立 つた西の
海は先の「あんなもので」多く言
はす、陣内は掛旗に「今日は一ツ
横綱を替かしてやうか」と豪語す
るのを九州山に「横綱に殺されな

勝勢の如し
腰力に負
糧平山守常遠矢
常陸小野崎山
丹波西川
相模海路山
北の景雲澤
友の黒雲澤
長門代官御大逃
能代佐々木
菅原山
若谷山天竺原
岩倉山關ヶ原
鎮福柳
新島羽州山
馬場羽州山
立錦
錦
常小島
花洋

立錦は宇都宮に紀ノ川
常小島は宇都宮に小常流の鎌
合有手を引張り込めば小常突放し
て手車など宇都再びハタき込めは
小常ト旗際に残り押さんとすは
宇都の叩き極まる

三回試み逆の腰振りスビ投げるニ
道詰みおかしな腰振りスビ投げるハナを
無二無三に寄れば追刻の略にて槍鉾
の小手投美事極つて勝▲城山に釋
刃ヶ嶽上り宮城素弓右差しに
成つて押すを釋強臣の泉川に極めて
一の返へは釋ト旗際れんとスグト投二
極の打てば小常の腰破れんとすハナ
を素早く叩ひ投げを打返へして勝▲
宇都宮に小常流 立上り小常流の鎌
合有手は宇都に突放し小常の鎌
合有手を引張り込めば小常突放し
て手車など宇都再びハタき込めは
小常ト旗際に残り押さんとすは
宇都の叩き極まる

A black and white woodblock print illustration of a man with a long beard and a topknot, wearing traditional Chinese robes, standing and holding a staff. The man is depicted in a three-quarter view, facing slightly to the right. He has a very long, dark beard and mustache. His hair is tied in a topknot with a small tassel. He is wearing a long, flowing robe with wide sleeves and a sash. He is holding a staff or a long object in his right hand. The background is plain white. The style is characteristic of traditional Chinese book illustrations.



●浪に浸ける
尾崎士郎著
講談社

た將油ヶ嶺が戦ひ込んで引上げてくる、負けでも能く離れさせ佛様の爲に道相を鎮めてゐる、宇都宮は土俵に出る前に都屋の出口で勇士と拳を打ちながら見物を交はせてゐたが小常陸を叩き込んで来た奴きゝん笑いて「勇張、足んなら炮、がつて到期這つてまつた」といふ年

◇隣りの西方 多岐子込

[illegible]

龍ヶ崎中ノ騎 泉 稻葉盛綱の側 錦
 宮城山を海邊 宇部 富永 小宮隆
 西の海 錦川 源氏山 國
 大綾 錦川 源氏山 國
 宇都宮 枅木山
 本社附近好み
 大相撲三日目の盛況

是本日第一の好取組に迎へられ、双方大
 念に仕切り、双方烈しく二回間に栃木の登
 に立上り、双方角力、三回に栃木は含ひ
 有、四つこなり九条素より下手投げを打
 ては、枅木山係際に危く、幾して打ち
 返へし、九の廻り、打ち、枅木山遠さ
 二本差し、こつて、つれば、九、土俵際
 言ひ付きて、預り、は九に、時間、同體さ
 二に、下手投げを打ち、枅木山に、取つて、残念
 相、預り、き、紫雲素、に、對馬洋、立上
 り、紫雲素、右、右差し、こつ、なり、喰ひ、め、
 ん、出、き、んと、を、對馬、を、紫雲素、込、み、下、手
 投げを、打ち、て、は、對馬
 將に、落ち、こ、する

りか棧敷券を買つた人が棧敷の後に
 立往生をする 有様で土間
 などは爪も近れない、立つて居る思物
 は仲賣が前を通つても行司が息遣を
 上げても頭が高いと我嘲つたがそ
 れでも終りまで溝堀を騒がす程の喧
 嘩沙汰も無かつた、正面には小宮次
 官、松水長官、その他の常連の外に
 山縣政務總監が遠藤後書
 官を作れて來られたのを始めて古西
 政務總監が齋藤副官の外に出形大佐



負けた小笠原は昔中の河を試ひ抵て
 「昨日は眞逆様にされるし、今日は
 御はされるし下駒はしたくないも
 だ、腹にもつて居かふ入らないも
 浮の魚を見せる」の間に境内か
 りリアツと野栗森が聞けてくる、
 ハチなど思つて居る、榎木山がや
 つてくる、九州山と預かつたのだ
 うです、と聞くとき、朝日に來て
 二度ばかり取つたが

◇預りば始ら

と言はない。九州山は流が助て水を

[illegible]

を破つて大角力となり水入、水入後對馬小手投げを三回連續し紫雲力入り土俵際に耐へ切れぬを對馬吊り出して勝ちたるは紫雲の爲めには最

と惜しき相撲なり
き▲綾川に岩木山立上つて岩木三回烈しく突き立てるを綾何んの突き立て敵の突来るを引張り込み岩木

中野、亥角、京谷、板東の名計長
その他一旗郎黨を率へたる井上東
三郎理事、木村鐵銀理事、時計東亞
吉田朝郷、鐵道如くは大層長官を始
め磯垣加藤の兩議長など大分見ゆる
●北棧敷の綾川會にも京城
法曹界の監々を始め種々な人が滯山
來てゐる、彌次も大分盛んであつた
が餘り振はなかつた、彼によつてお
切に明日山が「こんな奴と相撲を取
つたら」江戶櫻と明日山の初斗
主計師は萬を應じカンフル目易
しく經過不良にて重懲に陥れるや

東京市四谷區信濃町の自邸に静養中
の前陸閣下中將は其の後式、勝馬だ
をいふなりけり

東方支度部屋　石より西

岡前陸相重態

五



の海、綾川、柳木山……

落びながら「私は勝つたこゝばかり思
つてゐたが、物言ひがついた。南無阿彌
の手が先きだつたと思ふが、私の體
が落ちたんだらう」と多少憂念な
うだ。紫雲龍は大笑、野馬洋を喰ひ損
なひ鼻血を出して歸つて來た。「あゝ
なつて野馬關に腰味に行つては勝て
ないね」と言へば、吾人は惜しう
に薬物を著代へる、腰牌は彼の病氣
上り、根手の薬木出も

◇健康を損ねて病氣同
なり

[illegible]

げんとするを綾付
 け入りて手車とさ
 なり岩木綾の右手を
 攻めて二本差しと
 なり烈しく寄れば
 綾に寄り返へされ
 土俵際に破さんぞ
 するを綾落付きな
 がら寄返へして勝

大錦
 源氏山に

化粧立三回にて立
 上り源氏盛烈に笑

のは嫌だ」でんく引込んでし
 まつたので一時土俵が白け渡つたが
 結局、
 江戸櫻の勝つまでの可笑
 しさには、政務總監の顔面筋に先づ
 疵が見えたのを始めに正面技敵の
 連中も大分筋を屈してゐた、駒泉と
 西郷山の纏頭は非常に多かつたが
 に滑溜だったのは「福助」さんに光輝
 といへる、ミト足人滑りう

を行ひたるが十五日夜の體温は三十
 八度、呼吸十三にして意識は鮮明なれ
 ども食慾なく邸内は暗然に包まれ居
 れり（食慾特電）

外人夫婦を殺す
 主人は日蘭學校校長
 十六日午前二時三十分、川崎川邊別
 荘に遊樂中の加奈陀人キヤンペル氏
 （東京市本郷中央會堂日蘭學校
 一方、二人の賊忍び入り鏡内かゝる

支度部屋 したくべや

銀杯を棒にふたつ紫雲龍 ぎんぱいをぼうにつたふしうんりゆう

兩國經 ふたにくにのきよ 逃して殘念 にげしうてざんねん なる

東大相撲も三日となつて漸く とうだいさうぶくもさんじつとなつてしだいに

が乗つて來た、殊に見角席の捌け がのりつてきた、とくにけんかくせきのはなげ

へる標々、荒氣が藪一枚隔てた支度 へるひょうひょう、あらいきがくさいちまいかたてたしたく

屋に市松など、流れ込んで、迄氣が濃 やにいちまつなど、ながれこんで、いたるまでいきがのち

る、中入後、梅川と大相撲を取り る、なかいご、うめがわとだいさうぶくをと

處振りて相撲を取る様だと言ひ、出
 る前に「今日は、一ツ張つてやるぞ」と
 若木山がやつて来る。「さあ、」張る
 とも笑くとも喰ひつくとも御勝手次
 郎「と出て行つたが成程張る笑くで
 病身同志が猛烈な相撲を取り、結局岩
 木山は玉磔して歸つて来た。」どう
 も矢張り「喰」けない、ウマ「寄」つ
 て行つたが途中で力を抜いたので駄目
 だった、寄れは寄れたんだがゐんな

づて行つて了。諸お願なしらつて来。 龍山 家
 ▲須天理堂の公判がある。と云ふ。聞いた八
 公。ナル程だ。で、御公が、御願掛け給へ。と新つて
 居るのだ。し
 借め粉 十六日 同
 証書 十七日 同
 上級 十八日 同
 俗部 十九日 同
 次部 二十日 同
 水部 廿一日 同
 火部 廿二日 同
 土部 廿三日 同
 木部 廿四日 同
 金部 廿五日 同
 土部 廿六日 同
 火部 廿七日 同
 水部 廿八日 同
 木部 廿九日 同
 金部 三十日 同
 土部 三十一日 同
 火部 三十二日 同
 水部 三十三日 同
 木部 三十四日 同
 金部 三十五日 同
 土部 三十六日 同
 火部 三十七日 同
 水部 三十八日 同
 木部 三十九日 同
 金部 四十日 同
 土部 四十一日 同
 火部 四十二日 同
 水部 四十三日 同
 木部 四十四日 同
 金部 四十五日 同
 土部 四十六日 同
 火部 四十七日 同
 水部 四十八日 同
 木部 四十九日 同
 金部 五十日 同
 土部 五十一日 同
 火部 五十二日 同
 水部 五十三日 同
 木部 五十四日 同
 金部 五十五日 同
 土部 五十六日 同
 火部 五十七日 同
 水部 五十八日 同
 木部 五十九日 同
 金部 六十日 同
 土部 六十一日 同
 火部 六十二日 同
 水部 六十三日 同
 木部 六十四日 同
 金部 六十五日 同
 土部 六十六日 同
 火部 六十七日 同
 水部 六十八日 同
 木部 六十九日 同
 金部 七十日 同
 土部 七十一日 同
 火部 七十二日 同
 水部 七十三日 同
 木部 七十四日 同
 金部 七十五日 同
 土部 七十六日 同
 火部 七十七日 同
 水部 七十八日 同
 木部 七十九日 同
 金部 八十日 同
 土部 八十一日 同
 火部 八十二日 同
 水部 八十三日 同
 木部 八十四日 同
 金部 八十五日 同
 土部 八十六日 同
 火部 八十七日 同
 水部 八十八日 同
 木部 八十九日 同
 金部 九十日 同
 土部 九十一日 同
 火部 九十二日 同
 水部 九十三日 同
 木部 九十四日 同
 金部 九十五日 同
 土部 九十六日 同
 火部 九十七日 同
 水部 九十八日 同
 木部 九十九日 同
 金部 一百日 同



子宮病の道と

彼れ見と迷は無く

最も効力ある婦科聖薬
 方手は、一服で、百
 多年不治の、
 スケリや、数年
 難治の子宮病の
 方が、神速の速
 で、海を越え、遠
 の餘り、聖薬の
 朕（現在保存す）を、送
 の贈呈に供す）を、送
 らるゝ貴婦も、必
 ず若く不幸にも、是

神功湯



せん、
 リラクス
 子、
 ビス、
 胃、
 効、

ヒステリイは人を悩ます

こんな微候
 手、
 腹、
 頭、
 足、
 肩、
 腰、
 膝、
 腕、
 指、
 爪、
 髪、
 皮膚、
 呼吸、
 消化、
 循環、
 排泄、
 生殖、
 神経、
 精神、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、
 法律、
 教育、
 労働、
 娯楽、
 交通、
 通信、
 情報、
 環境、
 自然、
 宇宙、
 生命、
 意識、
 感情、
 行動、
 生活、
 社会、
 文化、
 科学、
 芸術、
 宗教、
 政治、
 経済、<

